「活躍する地域の代協」
都道府県代協レポートリレー
第83回　熊本県代協

「熊本県代協の独自取組みとして若手会（瑞会）を立ち上げる」

瑞（みずき）会は、2023年6月に熊本県の若手の店主、募集人が集まり、お互いに学び、成長するための場としてスタートしました。

「瑞会」という名前には、「みずみずしい」「新しいことの起点となる」という意味を込めています。

私たちは、「保険業界の発展と、若い人たちが魅力ある未来を切り開き、互いに切磋琢磨していく団体」を目指しています。

参加できるのは45歳以下の若手の店主、スタッフで、年に3～4回ほど勉強会を開催しています。

瑞会は、最初わずか4名で始まりました。しかし、少しずつ仲間が増え、現在では25～26名が参加する会へと成長しました。

瑞会の勉強会では、ただ話を聞くだけの勉強会ではなく、「参加した人が必ず一つは学んで帰る」ことを大切にしています。

そのため、座って話を聞く座学だけではなく、参加者をいくつかのグループに分けて、テーマについてみんなで話し合うディスカッションを中心に行っています。

経験豊富な人の話を聞くだけでなく、若手の人も自分の考えや経験を話すことで、「話す・聞く・気づく」ことができる場をつくっています。

最後には、それぞれのグループで出た意見や気づきを全員で共有します。そうすることで、自分一人では気づかなかった考えや、新しい仕事のヒントを得ることができます。

今後は、熊本地震の経験をもとに、「お客さまにもっと満足していただくために、私たちは何ができたのか」をテーマにしたディスカッションも予定しています。

地震の経験を振り返るだけではなく、そこで得た経験や反省を、これからのお客さま対応や今後の災害への備えにつなげていきたいと考えています。

これからも瑞会は、若い人たちがお互いに学び、刺激を受けながら成長できる場であり続けたいと思っています。

そして、若い人たちが「保険業界で働いていてよかった」「この業界で頑張っていきたい」と思えるような、魅力のある業界をつくっていくために、瑞会のメンバー全員で切磋琢磨していきます。


切磋琢磨する若手店主たち


勉強会のもよう

◆熊本県代協
1966年に熊本県損害保険代理業協会を発足。61年目現在の会員数は204店（2026年9月末）で、熊本県下に熊本中央北支部、熊本東南支部、県南支部、天草支部の4支部が活用している。